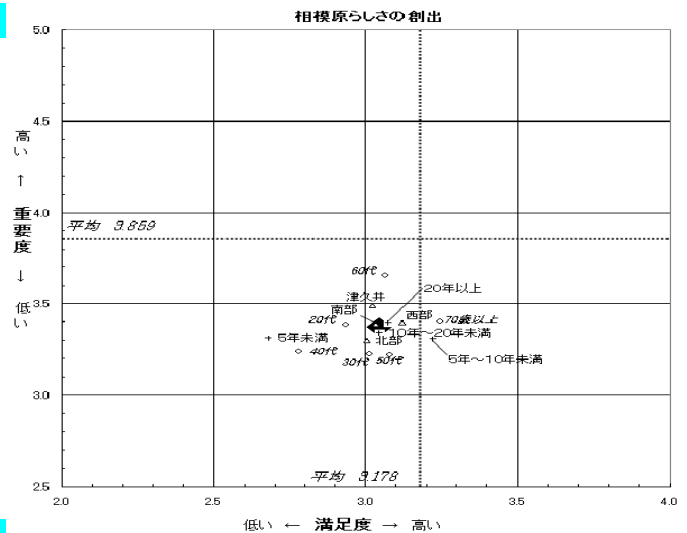




#### 4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.044で121施策の中で100番目。  
 ○重要度は3.374で112番目である。  
 ○改善要望度は-0.2478で103番目である。  
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は60代で最も高く、50代で最も低くなっている。  
 ○地区別にみると、満足度は西部で最も高く、北部で最も低くなっている。重要度は津久井で最も高く、北部で最も低くなっている。  
 ○居住年数別で見ると、満足度は5年未満で非常に評価点が低くなっている。重要度は20年以上が最も高くなっている。



#### 5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	4 (2) 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 (1)	4 (2) 1	
合計		3		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 C

\*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

#### 6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	「相模原らしさ」とは何であるかというものが客観化された状態を想定するのが困難であるため、その度合を測ることも困難である。
解決策	評価可能な施策とするためには、市としてどのようなものを「らしさ」として捉えるのかを提示する必要がある。

#### 7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

施策の目的を明確化・具体化する必要がある ⇒新しい総合計画に反映する。	2次評価 C
--	-----------

\*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

#### 8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

「相模原らしさ」の定義を含め、市民と共有できる目標を設定すること。	3次評価 C
-----------------------------------	-----------

\*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

